

リハビリ支援報告

今年度より、「たまごハウス」さんにリハビリ支援で定期的に訪問させていただいております。
ご利用者・職員の方に困りごとを伺い、ご希望に合わせて理学療法士、言語聴覚士が訪問し、支援を実施しています。
毎回2時間程度で4～5名の方の身体の困りごとをお聞きし、杖や車いすの評価、自分でできるトレーニングや職員が行えるストレッチなどをお伝えしています。



9/23(土) 17:15～18:15 「ピース八田西さん」で言語聴覚士が「摂食嚥下研修」を実施しました。

- ①食べる機能について
- ②加齢に伴って代わる摂食機能
- ③食事支援のポイント

について、職員同士で実際に食事介助をする、食事介助してもらうという体験をしてもらいながら研修を行いました。



計画相談の相談支援員の方から、「食事について相談したい方がいる」とのご依頼を頂き、言語聴覚士と理学療法士で「アクティブスペースかいと」さんに訪問させていただきました。

様々な事業所の支援者の方にお集まりいただき、実際の食事場面を見ながら主に食事形態や食事方法について、日常の支援の中での不安や疑問についての質疑応答やアドバイスを行いました。



障害者フェスタのご案内

ベルズの利用者と音楽で一緒に楽しもう！

2023年12月9日(土曜日) 13:00～15:00
健康福祉プラザ 1階ロビーにて

めずらしい楽器・いろんな楽器を体験しませんか？どなたでも参加していただけます！

職員派遣
お気軽にお問い合わせください！

薬剤師
看護師
など

理学療法士
作業療法士
言語聴覚士



■婦人科からの耳より情報■

第八話「薬剤による月経異常」

興奮、自傷、他害などの行動障害を認める場合、抗精神病薬としての第一選択薬はリスパリドン(リスパダール)やアリピプラゾール(エビリファイ)となりますが、リスパダールはプロラクチンという出産後に乳汁を分泌させるホルモンを高める作用があり、無月経、月経不順を来しやすい薬剤です。一方、アリピプラゾールはドパミン作動作用からプロラクチンを上げにくいとされています。リスパリドンによる高プロラクチン血症を認めた場合、リスパリドンを減量、中止し、アリピプラゾールに変更する方法もありますが、リスパリドンの減量が難しい場合は、リスパリドンにアリピプラゾールを併用することによって、プロラクチン値が低下すると言われています。

また、バルプロ酸ナトリウムは抗てんかん薬として、または興奮、自傷、他害などの行動障害を抑える薬として使用しますが、婦人科疾患としては、多嚢胞性卵巣症候群を引き起こし、月経不順、肥満、男性化徴候などを認めます。てんかんの治療薬をバルプロ酸ナトリウムからラモトリギン(ラミクタール)へ変更することにより、多嚢胞性卵巣が治癒したという報告もあります。



はしもとクリニック 院長
前 ベルデさかい 診療部長 橋本 洋之 医師

■知っておきたい薬の話■

その七「薬の保管について」

お薬には内服薬や塗り薬・目薬や注射薬など様々な種類のお薬があり、それぞれに保管の決まりが定められています。

ほとんど多くのお薬は「室温保存」となっています。室温とは1℃～30℃と「日本薬局方」という決まりの中で定められています。夏場、極端な高温になる場所や、冬場の凍結には注意しましょう。



また、「冷所保存」となっている場合は1℃～15℃と定められており冷蔵庫にて保管をします。目薬などはあけたら冷蔵庫に入れなくては行けないか？と尋ねられることもありますが、基本的に室温保存と書いてあれば入れなくても大丈夫です。ただし開封後はだいたい1か月が目安で、使っていない目薬は使わないようにしましょう。

温度以外では光や湿気にも注意が必要で、お薬の成分が変質することがあります。特に粉薬や漢方薬などを分包紙で分包している場合は湿気やすいので乾燥剤を入れた缶の中で保管すると良いでしょう。

ベルデさかい 薬剤師 河村 久美子

■リハビリだより■

その二「楽器の持つ力について」

《音楽》には5つの種類があります。①声を出す②聞く(自分や他人の出した音や声)③楽器や物を使って音を鳴らす④動く⑤作る(作詞作曲など)の5種類です。

今日はそのうちの【楽器】の持つ「ちから」についてお話ししましょう。まず、音とは振動を感じることで聞き取っています。楽器とCDの大きな違いは、響きがあるかどうかです。響きや振動を感じてもらうためには、生の楽器でないと聞くことができない音があります。特に身体が動かない人にも振動は感じてもらいやすい感覚の一つでもあります。また、体験も広がり、さまざまな音を知るきっかけにもなります。また、人と共有しやすいことも楽器を使うメリットとなります。コミュニケーションのひとつとしても、使用することで共有の方法の一つとして音楽が使えるのではないのでしょうか。

高齢化社会に伴い健康志向がブームとなっている今、分かってはいるけど体を動かすのが少し苦手、という方には是非お勧めしたいのが楽器です。

認知症の予防方法の一つに「デュアルタスク」というものがあります。デュアルタスクとは、2つ以上のことを同時に行うことです。例えば、テレビを見ながら洗濯物をたたむ、歩きながら歌を歌う、といったことが挙げられます。このデュアルタスクは、認知症予防のみならず、様々な病気の後遺症を回復させるためのリハビリテーションの現場でも広く普及しており、具体的なトレーニング方法も多く編み出されています。このデュアルタスクを実践できるのが、まさに楽器演奏なんです。楽譜を見ながら指を動かす、自分の出す音を聴く。まさにデュアルタスクの実践ですよ。楽器演奏が脳のトレーニングになるということにも頷けます。趣味がないので何か始めたいと考えている方も、是非この機会にいかがでしょうか？

堺市の障害者フェスタでは「楽器を楽しむ」ことをテーマに行います。ぜひ一緒にご参加ください！



ベルデさかい 理学療法士 吉田和佐

地域支援センター 事業実績と予告

堺ミーティング

	日時	テーマ
第1回	平成27年 7月20日	施設紹介:「ベルデさかいの役割とこれから」 児玉センター長、ベルデ各部署
第2回	9月11日	講義(岸本PT):いのちの入れ物「からだ」への支援
第3回	11月27日	講義(松本OT):豊かな暮らしの活動支援
第4回	平成28年 1月8日	講義(松浦ST):楽しい食事時間の支援
第5回	3月11日	講義(石崎Ns):いのちを紡ぐ医療的ケアの支援
第6回	5月13日	施設・事業紹介 大阪南リハビリ訪問看護ステーション、障友会グループホーム「あいあい」
第7回	7月8日	施設・事業紹介 アシストデイ・アシストナイト(ナイトケア)、エーゆーハウス
第8回	9月9日	施設・事業紹介 ピュアあすなろ、大阪府立堺支援学校
第9回	11月11日	施設・事業紹介 堺市基幹相談支援センター、堺市障害者更生相談所
第10回	平成29年 1月13日	講演 橋本 洋之 医師 (ベルデさかい 診療部長) 「障害女性のライフステージと健康」
第11回	3月10日	施設・事業紹介 じょぶライフだいせん、平成29年度の堺ミーティング計画報告
第12回	5月12日	講演:位田 忍 医師 (大阪母子医療センター副院長・患者支援センター長) 「在宅医療の地域ケアシステム構築での3次病院及び専門医療の役割」
第13回	9月27日	講演:南條 浩輝 医師 (かがやきクリニック院長) 「ちょっとだけがんばればできる小児在宅医療」
第14回	11月17日	講演:長井 美樹 医師 (堺市総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長) 「重症心身障害児者や長期臥床患者に適した新たな誤嚥防止術のご紹介」 紹介:堺市総合医療センター (医療連携室 柳川 富久美 看護師長)「医療・福祉・介護連携」
第15回	平成30年 1月12日	講演:藤井 健一 医師 (耳原総合病院小児科) 「重症心身障害児者とその家族に教えられた事 これまでの経験とこれからの展望」
第16回	3月9日	講演:伊藤 隆夫 PT (全国訪問リハビリテーション協会相談役・前会長) 「地域包括ケアと在宅リハビリテーションーこれからの地域に求められるリハ職の役割を考えるー」
第17回	9月14日	テーマ:「自立支援について考える-重心自立生活者当事者報告会-」 ※知的に高い重度障害者の自立生活実現への当事者報告会 当事者2名参加
第18回	平成31年 3月1日	テーマ:「自立支援について考える②」 堺区障害者基幹相談支援センター 菊池様からの事例紹介とディスカッション
第19回	令和元年6月20日	講演:竹本 潔 医師 (大阪発達総合療育センター 副院長 小児科) 「大規模災害時の医療的ケアが必要な方々への対応と対策」
第20回	10月24日	講演:森 繁樹 氏 (ベルデさかい 事務次長) 「個別支援計画と福祉制度入門」
第21回	令和2年8月28日	情報交換会: 新型コロナウイルスによる様々な影響とこれからの対策について ①新型コロナウイルス感染症対策 ②事業所、施設の運営や管理 ③利用者、保護者の心身の健康や生活
第22回	11月4日	講演:橋本 洋之 医師(はしもとクリニック 院長、前 ベルデさかい 診療部長) 「障害者の答えのない選択 あなたならどうする？」
第23回	令和3年7月28日	講演:鎌田 諭 氏 (日本相続知財センターなにわ支部・京都支部 理事 税理士・司法書士) 「専門標語を使わない障がいのある子の親なき後のお金の話」
第24回	令和3年12月15日	講演:山下 美由紀 氏 (一般社団法人輝39 代表理事) 中田 義弘 氏 (同 理事) 「看護付きグループホームとは？」
第25回	令和4年8月10日	講演:上之蘭 康氏 (社会福祉法人コスモス 中南エリア長・ふれあいの里かたくら施設長) 中村 智明氏 (社会福祉法人コスモス ふれあいの里かたくら施設長代行) 「よりよい地域支援体制の構築をめざして」
第26回	令和5年3月2日	講演:関谷 真一郎 医師 (クレヨンキッズクリニック 院長、 前ベルデさかい 診療部長) 「クリニック・訪問診療医の立場から見る、障害児(者)の地域生活の現状・課題・展望」
第27回	9月7日	「みんなでいろいろなことを話しましょう 其の壱」 報告:ピース八田西 ベルデさかい(生活介護)



「障害者週間」フェスティバル

第1回	平成28年12月3日	第2回	平成30年3月11日	第3回	平成30年12月1日
第4回	令和元年11月30日	第5回	令和2年11月28日(中止)	第6回	令和3年11月 (不参加)
第7回	令和4年12月4日	第8回	令和5年12月9日(予定)		

器具作成講習会(ベルデ製作所)

今までに作成した器具の作り方などは、ベルデさかいのホームページに掲載していますので、ご覧ください

第1回	平成28年10月16日	第2回	平成30年1月28日	第3回	平成31年3月16日
第4回	検討中				



介護講習会(ゆびきたす倶楽部)

第1回	平成28年6月19日	第2回	平成29年8月20日	第3回	平成30年6月10日
第4回	検討中				

症例検討会(くおりあ倶楽部)

新型コロナウイルス感染症の影響で延期しています。再開が決まり次第、ホームページやメールなどでご案内します。

健康体操教室

新型コロナウイルス感染症の影響で延期しています。再開が決まり次第、ご案内します。



ベルデさかいの
ホームページは
こちら



ベルデさかい

ベルデ地域支援センターの派遣事業について

- 地域の生活介護事業所での医療や介護、お薬、リハビリなどに関するご相談や指導
- 職員研修などの講義や実技指導
- 職員の腰痛予防などの体操指導
- その他

電話・FAX、ホームページ、メールなどで、どうぞお気軽にご連絡・ご相談ください。
ご依頼・ご相談をいただきましたら、日程のご相談をしてなるべく早期に対応します。

お問い合わせ・ご連絡先

堺市立重症心身障害者(児)支援センター内
ベルデ地域支援センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1
堺市立健康福祉プラザ2階

電話 072-275-8510 FAX 072-243-5900

担当者 渡辺 美咲(わたなべ みさき)
小澤 明人(おざわ あきと)

メール: verdesakai.chiikishien@misasakai.or.jp



地域支援

